

市議会議員  
かけのまち子  
電話/Fax 53-7727  
kakenom@xj.commufa.jp



市議会議員  
みわ 陽子  
電話/Fax 54-6712  
yokko0520mi@yahoo.co.jp



NO. 437 2019.7.26  
日本共産党江南市委員会

あすの江南

前市議 森ケイ子 電話/Fax 57-2753  
前市議 東よしき 電話/Fax 54-7977

\* 困り事は早めにお気軽にご相談ください

日本共産党江南市議員団 HP

検索

# 参院選 市民と野党の共闘で「改憲勢力 2/3」を阻む

日本共産党をご支持いただき、ともに奮闘していただいた皆さまに心から感謝を申し上げます。

安倍政権は「政府与党勝利」のように宣伝していますが事実は違います。重要なのは、安倍首相が改憲を公約に掲げた選挙で、自民党が改選比で9議席減らし、自民・公明・維新など改憲勢力を加えても改憲発議に必要な3分の2の議席を割ったことです。「3分の2割れ」の審判は、「性急な改憲の動きは賛成できない」という民意を示したものにほかなりません。

この結果をつくる上で、市民と野党の共闘が決定的役割を果たしました。全国32の1人区のすべてで野党統一候補を実現し、10選挙区で大激戦を制して勝利。1人区で野党が、改選前2議席から10議席へと躍進しました。共闘の力で、安倍首相による改憲策動に痛打を与え、政治局面を変えたことの意義はとりわけ大きいものがあります。

この成果を踏まえ総選挙にむけ、市民と野党の共闘をさらに大きく発展させ、安倍政権を倒し、新しい政治をつくるために力をつくす決意です。

日本共産党は選挙区で3議席を得ましたが、比例代表で、改選5議席から4議席に残念な後退をしました。しかし2017年総選挙の比例代表の得票、得票率と比べ前進できたことは、次への重要な足がかりとなります。愛知選挙区では、力不足で、すやま初美候補を押し上げることができませんでした。

年金、消費税、家計支援、憲法など、日本共産党が提起した問題が選挙の中心争点となり、安倍・自公政権を追い詰め、論戦をリードしました。とくに希望を語る党の訴えが、多くの皆さんの思いと響き合ったことは、今後を展望しても重要です。日本共産党は新しい国会で、一連の政策提起にもとづく論戦をさらに発展させ、公約の実現のためにあらゆる力をつくします。



開票翌朝、街頭で選挙結果を報告する、すやま初美さん(左)と4選を果たした井上さとし参院議員(右)



選挙中、江南駅で、後援会の皆さんでメガホン宣伝

		比例得票	得票率	すやま得票	得票率
2019年 参院選	江南市	3689票	9.56%	3713票	9.64%
	全国(選挙区は愛知)	448万票	8.95%	216674票	7.56%
2017年 衆院選	江南市	3509票	7.76%		
	全国	440万票	7.90%		

## 大丈夫が!? 動き出した2大事業 (布袋駅東開発、曾本工業団地)

参院選の最中に、江南市の将来に重大な影響を及ぼす2つの事業が動き出しました。

一つは、新図書館など複合公共施設と民間商業施設を一体整備する布袋駅東開発。未だに予定地の1筆で地権者の合意がなく、用地は未取得ですが、7月上旬から事業全体の実施方針と要求水準書(案)の公表に踏み切りました。(市HP参照)

設計方針案にあたる要求水準書案を示して、参入予定事業者の意見を聴取しながら設計を確定させ、12月議会に、30年間に市が負担する上限額(債務負担行為の額)を提案。議決後に、事業者募集を開始しようとしています。

「図書館と商業施設の合築はダメ。市民にこそ丁寧な説明と市民参加のプロセスが必要」と繰り返し求めています。ゼロ回答です。

もう一つは、南部・曾本地区の広大な優良農地30ヘクタール超を工業団地に造成して売り出す「工業用地整備方針策定委託料」が6月議会補正予算で可決されたことです。

用地取得、道路側溝整備、上下水道、1万7千トンもの調整池など、開発公社等を使った莫大な額の先行投資が必要となる見込み。地域経済の先行きが不安な時期に、時間も費用もかかる先行投資はリスクがいっぱい。造成した工業用地がたとえ売却できても、進出企業への優遇措置で財政負担が生じ、企業が赤字になれば税収増も見込めません。

日本共産党議員団は、計画を進めることを前提とせず、十分に慎重な検討を行った上で判断することを求め反対しました。